

館書圖立縣

特254

庫文出

255

読め！時を惜



所場

29 日期

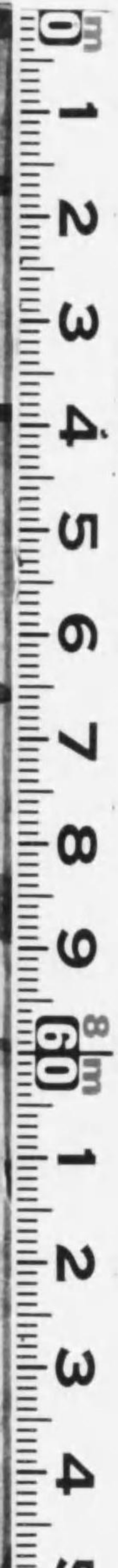
農村更生文庫圖書目錄

(昭和十一年度)

附、回付手續

(ポスター)

始



特254
255



農村更生文庫圖書目錄

發行所寄贈本

△本館に於ては昭和九年秋、冷害凶作の對策として、農村青年篤農家の奮起研鑽を促すべく「農村更生文庫」を設け現在も各地に回付して非常な歡迎と利用を受けて居ります。

△今回文部大臣より中央圖書館事業施設獎勵の爲金五百圓の交付を受けましたので早天に於ける慈雨の感を以てその全額を「農村更生文庫」の擴張に充てることになりました。

△本館は今回新に購入した圖書のみを輯録したものでありますが此の他約九百冊の圖書があります。

△農村更生の鍵は研究と精進とに在ると思ひます、此の意味に於て各圖書館は農村の各種團體と聯絡提携し後記の回付手續に據り一層利用せられんことを希望致します。

昭和十一年四月



福島縣中央圖書館

日本精神新講	一	緋田 華工	新 光 閣	一・五〇
報徳要典	一	劉 宗 文	内 外 書 房	一・五〇
日本精神史	一	劉 宗 文	内 外 書 房	一・五〇
哲學の話	一	大島 正徳	寶 雲 文 書 館	一・二〇
眞理に生きる	一	下村 虎六郎	泰 水 學 文 書 館	一・二〇
人生の大原動力	一	本間 俊平	實 業 之 日 本 社	一・〇〇
菜根	一	加藤 咄堂	大 東 出 版 社	一・六〇
讀書と修養	一	加藤 咄堂	春 潮 社	一・五〇
邦武士道	一	新渡戸 稻造	慶 本 文 書 堂	一・五〇
兒童心理學	一	久保 良英	藤 井 書 店	四・五〇
青年期の心理	一	青 木 誠四郎	古 今 書 院	二・五〇
兩親のための一般心理學	一	松 本 亦太郎	先 進 社	二・〇〇
教育の本質觀	一	小西 重直	玉 川 學 園	一・二〇

東洋文庫圖書目録

修 證 義	一	岡田 宣法	清 水 書 店	一・五〇
歎異抄講話	二	金子 大榮	萌 文 社	三・〇〇
現代人の佛教概論	一	友松 圓諦	第 一 書 房	一・八〇
歎異抄講話	一	梅原 眞隆	明 治 書 院	一・五〇
禪學讀本	一	山田 靈林	第 一 文 書 房	一・五〇
佛教倫理	一	馬場 文翁	目 黒 書 店	一・五〇
基督教讀本	一	白石 喜之助	新 生 堂	一・二〇
基督教史	一	郷司 健爾	新 生 堂	二・五〇
鬼の念佛	一	釋 瓢 齋	立 央 命 館	一・五〇
瓢齋隨筆	一	釋 瓢 齋	入 文 山 書 院	二・〇〇
九十五點主義	一	永田 秀次郎	實 業 之 日 本 社	一・二〇

黒頭巾を脱ぐ
上に立つ人の道
レコード音楽讀本

▽歴史・地誌△

日本文明史講話
解説日本文化史
東洋史概説
西洋史概説
偉人三風土録
わが七十年を語る
高橋是清自傳
日本の力
滿洲讀本
國民世界地理

丸山幹治
村上瑚磨雄
野村光一
龍居松之助
栗田元次
松井等
山中謙二
吉松祐一
林權助
自來水著
渡邊鐵藏
東亞經濟調查局
藤田元春

言海書房
富山書房
中央公論社
雄山閣
明治圖書
共立書社
至一文堂
大同書館
第一書房
千文書倉
章太華社
同書上
富山房

一・八〇
一・三〇
一・八〇
二・〇〇
三・〇〇
二・八〇
四・〇〇
二・〇〇
一・八〇
一・五〇
一・五〇
四・四〇

概観日本地誌
青年頼山陽
偉人權兵衛
維新夜話

▽自然・探検△

▽政治・經濟・社會△

明治天皇と立憲政治
帝國憲法講義
銀行讀本
民法讀本
經濟讀本
農村青年讀本
現代政治の常識
新興農村教育
議會・政黨・選舉

山本熊太郎
木崎好尙
村上貞一
田中光顯
渡邊幾次郎
清水大澄
橋爪明男
穂積重遠
太田正孝
大橋清藏
大平進一
佐藤寛治
嶋山政道

古今書院
章華社
實業之日本社
改造社
學而書院
松華堂
日本評論社
同
同
同
明文堂
同文書館
東洋圖書
日本評論社

九・〇〇
一・五〇
一・五〇
一・六〇
二・五〇
四・五〇
一・三〇
一・〇〇
一・〇〇
一・〇〇
三〇
一・三〇
二・五〇
一・五〇

判例百話	一	總積重遠	同	二〇〇
財政講話	一	岡野文之助	南郊社	一〇〇
戀愛結婚の書	一	菊池寛	モダン日本社	一五〇
農業保険の理論と實際	一	四宮恭二	日本評論社	五〇
農林行政	一	石黒忠篤	同	一五〇
農村の體育運動	一	岩原拓	同	一五〇
保育事業と農繁期託兒所	一	山中六彦	同	一五〇
農村家屋の改善	一	今和次郎	同	一五〇
農村社會事業	一	賀川豊彦	同	一五〇
農村人口問題と移植民	一	永田稠	同	一五〇
農村社會教育	一	關屋龍吉	同	一五〇
農業團體の統制	一	東浦庄治	同	一五〇
農村の衛生と醫療	一	南崎雄七	同	一五〇

▽自然科學△

少年の魂を培ふ動物美談	一	佐々木喜一郎	文修堂	一八〇
天文や氣象の話	一	藤原咲平	岩波	一〇〇
曆と迷信	一	鈴木敬信	恒星堂	一五〇
山の隣人	一	長尾宏也	竹文村	二〇〇
味と榮養の科學	一	島田勝吉	政經書院	一八〇
稻の遺傳と育種	一	長尾正人	養賢堂	三三〇

▽農業△

▽農村工業△

農村工業讀本	一	佐藤富治	明文堂	一五〇
誰にも出来る面白い廢物利用の手工藝	一	丸山行雄	三誠社	一五〇
小資本農村工業叢書	六	藤田龍藏	誠本文藝堂	一八〇
1、土石竹木の利用と加工	一	星忠太郎	同	一五〇
2、實用水産品製造法	一	鈴木好一郎	同	一五〇
3、實用林産品製造法	一	大嶽六郎	同	一五〇
4、農村都市廢物利用法	一		同	一五〇

5、實用畜産品製造法

6、實用農産品製造法

園藝食品加工法

甘藷と馬鈴薯の加工法

農産製造の原理と實際

農産製造の實習法

木竹の工藝

農具の篇

農業事物起原集成

農村改造講話

▽産業△

産業組合講話

村民訓

農道説語

農業事物起原集成

農村改造講話

金子平一

岡崎忠太郎

星市太誠

古市誠

菊地久一郎

高橋偵造

坂口謹一郎

高橋偵藏

小泉吉兵衛

福島縣農事講習同窓會

佐藤寛治

山崎延吉

山崎延吉

大野史郎

石田傳吉

養賢堂

明文堂

日本評論社

目黒

博文館

同上

成美堂

泰文館

泰山館

丸山舎

浩文社

1

1

4.50

4.50

4.50

4.50

4.50

4.50

4.50

4.50

4.50

4.50

4.50

4.50

4.50

4.50

農村更生の道

農村計畫

若き人々へ

百姓だつて人間だ

農村更生の原理

新時代の農家經濟

篤農家の研究

立體農業の理論と實際

農村問題解説

碧海の農業と其の教育

農民の活路

農事組合講話

實驗新養蠶法と農村更生講話

理想の農業國デンマーク土産

理想の農家

村田字一郎

山崎延吉

同

古瀬傳藏

本位田祥男

大久保敏

山路虎吉

賀川豊彦

藤崎盛一

栗原藤七郎

宇田一

山崎延吉

香月秀雄

石田傳吉

上塚司

石田傳吉

泰文館

泰文館

同

同

日本評論社

明文堂

泰文館

日本評論社

明文三堂

地人書院

賢文館

泰文館

同

同

浩文社

1.50

2.00

1.50

1.50

1.50

1.50

2.80

50

1.00

1.50

1.50

1.50

1.50

1.50

2.00

育林學原論	中村賢太郎	西ヶ原刊行會	四〇〇
富民叢書第一集十第四集	富民協會	富民協會	四〇〇
農事組合の活動	香月秀雄	富民叢書第一集	一〇
成功せる農業經營	富民協會	同 第二集	一〇
農業はさう經營すべきか	岡田延吉	同 第三集	一〇
農業の經營	山崎延吉	同人書	一〇
精農十縣十人	富民協會	同 第三集	一〇
優良農事組合の經營	折目六右衛門	同 第三集	一〇
小組合を完成するまで	香月秀雄	同 第三集	一〇
農村振興と婦人	富民協會	同 第三集	一〇
精農と優良農事組合	松本喜作	樂浪書院	一〇
農家經營法	小西徳治郎	泰文館	一〇
農村更生の要諦	今井善兵衛	日本評論社	一〇
更生農村	山崎延吉	同	一〇
農村非常時と農民道の眞體			

篤農青年體驗記錄	福島繁三	日本評論社	一〇
農村更生の原理と計畫	岡田延吉	同	一〇
農村更生と青年教育	田澤義鋪	同	一〇
耕地整理と土地改良	有働良夫	同	一〇
農産物價格統制	東畑精一	同	一〇
蠶絲業經濟	永井治良	同	一〇
農業金融と農家負債整理	小平權一	同	一〇
農村經營と農政	岡田延吉	龍吟社	三〇
農業經營方式	久保佐土美	養賢堂	二〇
本邦農業の調査			
金田の買心			
土壤學講話	川村一水	養賢堂	三〇
應用土壤學	高崎進卷	明文堂	二〇
肥料施用方法	鶴田萬年	養賢堂	三〇
實驗 厩肥・堆肥・精説	高崎進卷	賢文堂	二〇

櫻桃栽培法
 栽培 果樹園藝
 本位 栽培 蔬菜園藝
 本位 實 蔬菜促成園藝
 蔬菜の温室園藝
 蔬菜果物の荷造と販賣
 蔬菜高速度栽培法
 穴澤式甘藷栽培法
 作物 害虫の防除
 園藝 害虫の防除
 農藝 病害の研究と防除
 作物 病害の防除
 稲作 害虫の防除
 病 害虫の防除
 病 害虫の防除

杉山昌治	明本文齋堂	二・八〇
小田鬼八	養賢堂	五・五〇
同田	同文齋	四・八〇
市川實太郎	同	六・五〇
喜野正明	目録	三・〇〇
久野正男	西ヶ原刊行會	三・八〇
山崎磐男	賢文館	七・八〇
小田鬼八	西ヶ原刊行會	一・〇〇
穴澤松五郎	同	一・〇〇
三木	同	一・〇〇
小田康八	成美堂	一・〇〇
永野清太健	弘明堂	二・〇〇
米野清太健	富民叢書第二集	二・一〇
名和梅吉	農家副業全集	一・七五
成美堂	同	一・七五
福島縣農事講習同窓會	同	一・三五

收益 農村副業大成
 本位 養蠶農家の副業
 養魚のしをり
 竹林經營の指針
 趣味と實益の副業養蜂
 繭八十貫を實收して
 農業經營と副業
 有利な畜産副業
 最新の水産副業
 收益 水産養殖大成
 本位 割の好い林産副業
 儲かる副業農作物
 餘暇に出来る有利な副業漬物

鈴木茂次	養賢堂	二・九〇
高橋伊勢次郎	明文堂	一・三〇
藤田政勝	富民叢書第一集	一・一〇
安藤時雄	同	一・一〇
大島基三郎	同	一・一〇
徳田義信	同 第四集	一・一〇
衣川春一郎	同	一・一〇
竹山祐太郎	成美堂	一・一〇
大野勇 其他	同	一・五〇
徳久三 種	同	一・七五
日暮 忠	養賢堂	三・八〇
緑川 祿 其他	成美堂	一・五〇
高橋兵造 其他	同	一・七五
内海一雄 其他	同	一・七五

収益の多い農産加工
 副業品販賣のこつ
 利益の確實な果樹
 手輕な農家細工物
 これからの林産加工
 副業本位の罐詰場詰
 木材と木炭
 造林と山村の副業
 農山副業相談
 漁村副業相談
 儲かる副業
 有畜農畜必利經營法
 養豚講話
 誰にも儲かる豚の飼ひ方

小林正一郎其他	同	一八
山崎啓男 其他	同	一七
徳安健太郎其他	同	一七
吉仲武之 其他	同	一七
大國三郎 其他	同	一七
永野 其健	同	一七
渡邊 其全	日本評論社	一七
同	同	一七
東京朝日新聞社	明文堂	三〇〇
山下芳三 允	東洋經濟出版部	二五五
橋本 敦示	丸山 舎	一三〇
成松 靜雄	子安農園	一三〇
古谷 春吉	泰文館	一三〇

最新養豚法
 最益養鶏大成
 多産副業養鶏法
 本位
 狸とその養殖
 養狸の新智識
 細羊と羊毛加工
 細羊飼育の實際と羊毛加工法
 最新兎の飼ひ方
 養兎と養脚
 副業養鶏の實際
 有利なる副業養豚
 最新畜産讀本
 農村更生と養鶏
 我國の畜産
 家畜の飼料と飼ひ方

永田厚平	目録	三〇〇
伊藤 惟吉	養賢堂	二九〇
小原 敬介	泰光堂	一五〇
横上 若太郎	明文堂	一〇〇
文下 重義	明文堂	一〇〇
山田 喜平	明文堂	一八〇
鈴村 熊市	丸山 舎	一〇〇
市川 俊次	明文堂	一〇〇
大山 彦二	富民叢書第三集	一〇〇
高橋 廣治	同	一〇〇
飯田 吉英	同	一〇〇
境野 惠作	博文館	四五〇
高橋 廣治	日本評論社	一〇〇
村上 龍太郎	同	一〇〇
石塚 寛助	西ヶ原刊行會	六〇〇

有畜農業經營法牛馬篇

アンゴラ兎の飼ひ方

山羊飼育法

探毛養兎と其經營

高橋實驗養鶏法

○

(家政)

最新家事提要

家庭經濟讀本

子供と母の領分

家事經濟讀本

新女性讀本

愛育讀本

田村新八

馬俊雄

中村光義

示村慶太郎

高橋廣治

井上秀子

河津暹

鷹野つぎ

松平友子

棚橋詢子

愛育會

養賢堂

泰文館

日の丸堂

子安農園

泰文館

文光社

明善社

古今書院

文書堂

東學社

三省堂

一・九〇

一・二〇

五〇

二・〇〇

三・八〇

四・五〇

一・三〇

一・八〇

一・五〇

一・五〇

一・五〇

▽文

學△

和琴抄

文章讀本

文學讀本

白道を歩む

度胸の一生

白隠の和尚

明治建設

戊辰戰役

母の死

膨脹の日本

百姓尊徳

續百姓尊徳

若き日の尊徳

尊徳の生活

日本の偉れた人々

今井邦子

谷崎潤一郎

島崎藤村

山中峰太郎

矢田挿雲

釋瓢齋

木村常毅

野村胡堂

中勸助

鶴見祐輔

奥平詳一

同

同

同

武者小路實篤

紫式部學會

中央公論社

第一書房

同小文館

千代倉

人文書院

改造社

同

岩波

講談社

春秋社

同

同

同

山本書店

一・八〇

一・五〇

一・五〇

一・三〇

一・五〇

二・〇〇

一・一〇

一・二〇

一・八〇

一・五〇

一・五〇

一・六〇

一・六〇

一・七〇

一・五〇

錦旗を繞りて
 額山 陽
 旅順攻圍軍
 望空夜話
 彌撫使さんとお加代
 昨日の滿洲
 紳(めたち)
 水戸黃門
 青空無限城
 乳と蜜の流るる郷
 天(一)使
 金環 蝕
 翼の誓ひ
 娑婆風流
 股旅新八景

小松 貞 千本書倉 一・五〇
 木村 毅 同文 一・五〇
 同 同 講談社 一・三〇
 北村 小松 岡倉書房 一・三〇
 釋 瓢 齋 立命館 二・〇〇
 吉田 辰次 平凡社 一・〇〇
 眞船 豊 双雅房 一・六〇
 大佛 次郎 中央公論社 一・七〇
 三上 於菟吉 サイレン社 一・六〇
 賀川 豊彦 改文造社 一・三〇
 横光 利一 創元社 一・八〇
 久米 正雄 新小説社 一・八〇
 福永 恭助 新潮社 一・三〇
 吉井 一男 岡倉書房 二・〇〇
 長谷川 伸 新小説社 一・〇〇

曉の 獸 人 五ノ五 潮社 一・八〇
 丹下 左 麟 二ノ二 潮社 一・四〇
 傳記 山室軍平 一ノ一 實業之日本社 一・五〇
 小説 山室軍平 一ノ一 實業之日本社 一・五〇
 若き日の良寛 一ノ一 第一書房 一・五〇

○福島縣立圖書館規則抄

第六章 巡回文庫
 第三十六條 巡回文庫ハ縣内圖書館、學校、男女青年團其他館長ニ於テ必要ト認メタル團體ニ回付シ廣ク公衆ニ圖書閱覽ノ便ヲ與フルヲ以テ目的トス
 第三十七條 巡回文庫ハ其編成ヲ自由及固定ノ二種トス固定編成ノ巡回文庫ハ本館ニ於テ任意ニ編成シ自由編成巡回文庫ハ請求者ノ希望ニ依リ編成回付スルモノトス
 第三十八條 巡回文庫ノ回付ヲ受ケントスルモノハ責任者ノ名ヲ以テ館長ニ請求スヘシ
 第三十九條 巡回文庫ノ閱覽期間ハ回付ヲ受ケタル日ヨリ起算シ四ヶ月以内トス
 第四十條 巡回文庫ノ回付並返送ニ要スル費用ハ總テ該文庫請求者ニ於テ之ヲ負擔スヘシ但シ時宜ニ
 依リ本館ニ於テ負擔スルコトアルヘシ

第四十一條 巡回文庫ニ屬スル圖書ヲ紛失又ハ汚損シタルトキハ文庫請求者ニ對シ第七條ヲ準用ス

福島縣立圖書館巡回文庫取扱手續

第一條 巡回文庫ノ回付ヲ受ケムトスルトキハ巡回文庫回付請求書(第一號様式)ヲ回付希望約十日

以前ニ本館長宛提出スヘシ

第二條 巡回文庫ノ回付ヲ受ケタルトキハ直ニ左ノ手續ヲ執ルヘシ

一 直接本館ヨリ回付ヲ受ケタル場合ハ本館長宛ニ受領書(第二號様式)ヲ差出スヘシ

二 他ヨリ轉送ヲ受ケタル場合ハ本館長並ニ發送者宛ニ前項受領書ヲ差出スヘシ

第三條 回付ヲ受ケタル圖書ニ對シテハ適當ナル方法ヲ以テ一般ニ周知方ヲ講スルハ勿論進ンテ其ノ

内容ノ紹介ニ努ムヘシ

第四條 回付ヲ受ケタル圖書ハ一定ノ場所ニ於テ閱覽セシムルノ他携出閱覽ヲ許可スルコトヲ得

第五條 閱覽者ニ對シテハ閱覽簿(第三號様式)ニ各所定ノ事項ヲ記入スヘシ

第六條 巡回文庫ノ期間滿了シタルトキハ左ノ手續ヲ執ルヘシ

一 直接本館ニ返納スル場合ハ返納書(第四號様式)並ニ閱覽簿ヲ添ヘ文庫ヲ本館ニ送附スヘシ

二 他ニ轉送スル場合ハ閱覽簿、返納書ヲ本館ニ送附スルト共ニ文庫並ニ轉送書(第五號様式)ヲ

轉送先ニ送附スヘシ

(諸様式)

(第一號様式)

年 月 日

所在地、請求主體

責任者 職 氏 名

職 氏 名

職 氏 名

福島縣立圖書館長宛

巡回文庫回付請求書

貴館巡回文庫左記要項ニ依リ御回付相願度此段及請求候也

一 希望圖書種類

一 希望期間 昭和 年 自 月 日 至 月 日

一 閱覽豫定人員

一 送附先 (性別及年齢別)

一 送附先 (町郡市) (線 驛止)

一 閱覽所

(第二號樣式)

一 第 號 受 領 書

一 第 號 巡回文庫

右收容圖書 冊

但シ收容圖書目錄ノ通

右査收致候也

所在地、受領主體

責任者 職 氏 名

(第三號樣式)

第 號 巡回文庫閱覽簿

(第一號樣式)

閱覽所 期間

携出月日	圖書名	冊數	返納月日 (係員認印)	住 所	職 業	氏 名

(第四號樣式)

返 送 書

一 第 號巡回文庫

右收容圖書 冊

右及返納候也

年 月 日

所在地、返納主體

責任者 職 氏 名

福島縣立圖書館長宛

(第五號様式) 立書書式

福島縣立圖書館巡回文庫轉送書

一 第 號巡回文庫

右收容圖書 冊

但シ收容圖書目錄ノ通

右福島縣立圖書館長ノ依頼ニ依リ及轉送候也

年 月 日

發送主體責任者

職

氏

名印

(轉送ヲ受クヘキ代表責任者) 宛

附、巡回書庫鐵道運賃割引ノ件

昭和八年九月十四日鐵道省告示第四百十六號及第四百十七號ヲ以テ、旅客及荷物運輸規則中並連帶運輸規則中左ノ要項ノ通改正セラレ十月十五日ヨリ施行サレタ

記

一 圖書館ト市町村役場、學校、青年團(處女會ヲ含ム)トノ間ニ往復スル巡回書庫ニ對シテハ相當小荷物運賃ヨリ五割ヲ低減セラルルコト

二 巡回書庫ノ荷送人ハ市町村長又ハ官公立圖書館長發行ノ證明書ヲ發送驛ニ提出スルコト

證明書ノ様式ハ左記ニ依リ調製スルコト

(左記様式)

第 號

巡回書庫證明書

一、荷 送 人

二、荷 受 人

三、託 送 區 間 自 驛 至 驛

右巡回書庫タルコトヲ證明ス

年

月

日

市町村長又ハ官公立圖書館長

氏

名印

注

(イ) 證明書ハ破損ノ虞ナキ西洋紙ヲ用フルコト

(ロ) 證明書發行者ハ裏帳ヲ作製シ所定ノ事項ヲ記入シ置クコト及ハ官公立圖書館長ノ印ヲ受

339
787

(ハ) 青年團等ヨリ巡回書庫ヲ發送セントスル場合ハ所在市町村長又ハ官公立圖書館長ノ證明ヲ受クルコト

三 巡回書庫ノ配達ヲ受クル場合ハ一回ニ付金拾錢ヲ支拂フコト

四 證明書ヲ不正ニ發行シ又ハ使用シタルトキハ爾後之カ發行ヲ停止セラレ又使用出來サルハ勿論成規ニ依リ不足運賃及増賃ヲ徴收セラルルコト

五 本件ノ實施ハ昭和八年十月十五日ヨリノコト

昭和十一年四月廿七日印刷
昭和十一年四月三十日發行

福島縣立圖書館

印刷人 佐藤善男
印刷所 福島縣印刷所

終

